

minamisoma magazine

magazine for minamisoma supporter
2020 special photo book

別冊



相馬野馬追、
ある家族の記念



じりじりと真夏の太陽が照りつけるなか、
甲冑がずつしりと重く濡れる雨のとき、
たとえ、災害の爪痕のなかであっても、
人と馬がともに祭りごとを全うする3日間。
千年以上もの間、相馬野馬追は絶えることなく、
受け継がれてきました。

相馬野馬追、 あさ家族の記念

相馬野馬追が近づいてくると、
代々受け継がれている装束を繕い、
人と馬が呼吸を合わせて
練習に励む日々が始まります。
地域にとって欠かせない文化は、
馬と生きる多くの家族によつて
支えられてきました。

令和元年の出場者は、
5歳から55歳までの約400人。

代々相馬野馬追に出場してきた伏見家では、
祐希君（当時5歳）が初陣の記念すべき年。
家族みんなで野馬追に懸ける。
この地に続く、
家族のかたちを写真に収めました。



伏見家の朝は馬の世話から始まる。
家の裏にあるきれいに整備された馬場、
その奥に建てられた
築100年の厩舎。
南相馬らしい暮らしがここにはある。
生まれた時から馬と共に暮らし、
野馬追を見ていた祐希くん。
あこがれの舞台への初陣が迫る。



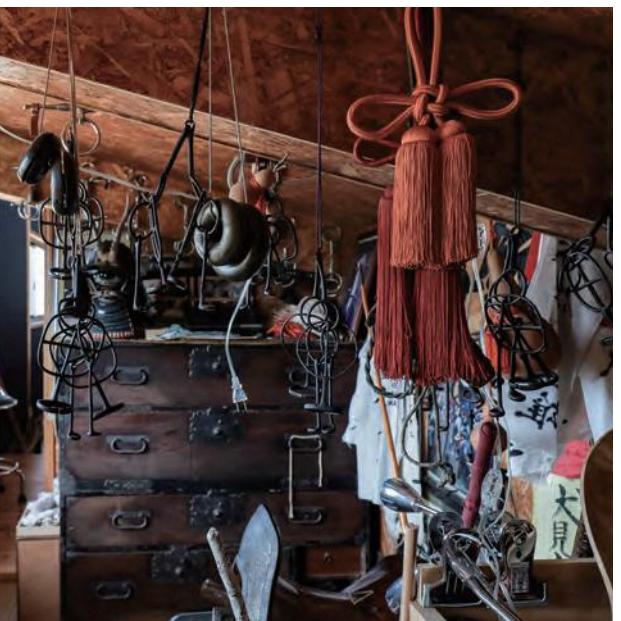
野馬追に向けて
日々の練習は欠かせない。
公道を歩く馬の姿は
蹄の泥を落とし、
丁寧にブラッシングをする。
この日常の世話が馬と人との
信頼関係を育む。



野馬追の朝。
出陣準備は馬たちから。
幾度も修繕をした
年代物の馬具を
手際良くつけていく。
馬にも人にも危険がないよう、
しっかりと力を込めて。
人の足をのせる鎧は
大人用と子供用が上下に並ぶ。







出陣は祝い事。
赤飯を焼き、
家族総出で準備をする。
甲冑をはじめとする装束は
一人では着ることはできない。
家族がしっかりと手をかけて
騎馬武者たちの勇壮な姿、
相馬野馬追は成り立っている。

出陣は祝い事。





祐希くんは

この年の出場騎馬武者の最小年齢。

お行列では勇ましい甲冑姿の

大人の騎馬武者に囲まれながらも

堂々と馬に乗る。

馬丁として見守る、

野馬追出場50年の祖父・克夫さんは

この年の出陣は孫に譲った。

出陣は一年ごと交互に、という

祐希くんとの約束。



1日目、出陣式が相馬藩内
3つの神社で行われる。
その一つ相馬太田神社にも
100騎を超える騎馬が集結。
今年も野馬追の日を
迎えられる喜びを噛み締め、
戦での無事を祈願し士気を高める。





2日目、騎馬たちが
空高く打ち上げられた
ご神旗に向かう。
ひしめきあう騎馬の中にある
父の姿を固唾を呑み見守る。
炎天下の祭場地・雲雀ヶ原、
騎馬武者とその家族たちの
熱気がほとばしる。



神旗争奪戦が終わり、
雲雀ヶ原に涼やかな風が抜ける。
克夫さんの穏やかな笑顔と共に
祐希くんの
初めての野馬追が暮れしていく。



一年に一度の大舞台、
馬を労い、汗を洗い流し、
日常に戻っていく。
そしてまた野馬追に
向けての一年が始まる。
大伯父さんの背中で
ひとまわり大きくなつた
妹・祥香ちゃんは
兄の背中を見る。

家族が共に歩く帰り道。



相馬野馬追は、

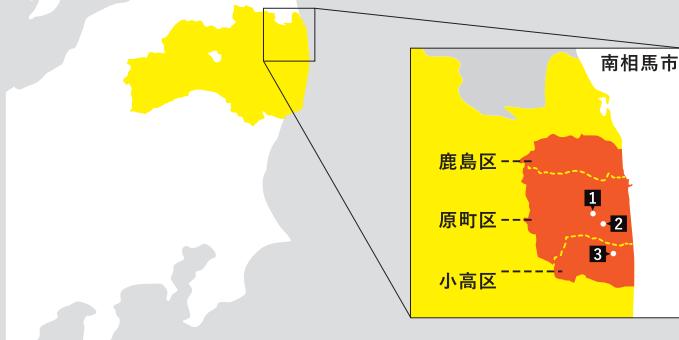
天保の飢饉以来の省略野馬追の開催へ。
最小限の神事のみが行われる。

来年、再び人と馬が一堂に会する日を、
皆が願っている。

発行元・南相馬市役所
統括編集長・武田智芳（南相馬市役所）
編集・小野民
アートディレクション・デザイン・ニシヤマリカ（marutt）
写真・鈴木宇宙
タイトル題字・半谷恵美子
制作（南相馬市役所）・馬場仁、吉田亜衣、大和田智之、
武内秀斗、杉本佳夫、向後直人、花岡高行、
酒井真由美、徳沢峻
撮影協力・伏見克夫、伏見学、伏見祐希、伏見クロ、伏見忠、
伏見寿子、伏見綾子、伏見祥香
発行日：2020年7月14日
問い合わせ：南相馬市サポート事務局（南相馬市役所内）
〒975-18686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地
TEL：0244-122-2111

相馬野馬追とは？

一千有余年の歴史を誇る伝統の祭り。国指定重要無形民俗文化財に指定されている。相馬氏の祖といわれる平将門が下総国（千葉県北西部）に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行つたのが始まりと伝えられ、現在では、毎年7月末の土曜日・日曜日・月曜日の3日間で開催されている。南相馬市原町区の雲雀ヶ原祭場地を中心とし、相馬地方各地で行われており、甲冑に身を固めた400余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走し、豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻が繰り広げられる。



各会場所在地

1 雲雀ヶ原祭場地

福島県南相馬市原町区牛来字出口206-1

2 相馬太田神社：

福島県南相馬市原町区中太田字館腰143

3 相馬小高神社：

福島県南相馬市小高区小高字古城13

相馬野馬追開催中の関連する行事

(南相馬市内)

土	・出陣式 ・宵乗り競馬 ・軍者会 ・相馬盆踊りパレード
日	・お行列 ・甲冑競馬 ・神旗争奪戦 ・火の祭
月	・野馬懸



※令和2年度相馬野馬追は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、お行列や甲冑競馬、神旗争奪戦などの行事の大部分を中止し、最小限の規模で開催します。無観客で開催するため、立ち入りはできません。

相馬野馬追についてもっと知りたい方はこちらへ

相馬野馬追執行委員会 公式ページ
<http://soma-nomaoi.jp/>



ミナミソウマガジンとは… 南相馬の「いま」を伝えるため2019年1月に創刊した、1号1テーマの特集と連載からなる会報誌です。読者は南相馬市のサポーター会員。サポーターには、市外に住んでいて南相馬市と縁がありたり、かかわりたいと思ってくださる方なら誰でも登録できます。南相馬で暮らす馬たちの表紙が目印の冊子を、年に2回無料でお届けします。

「ミナミソウマガジン」が届く！

『南相馬市サポーター』登録ははこちらから

